

1月24日(日)は、今年最初の日本将棋連盟京都府支部連合会主催の将棋大会「第45回支部将棋対抗戦・名人戦・第23回シニア将棋名人戦京都大会」を「ひと・まち交流館京都」において開催。参加者は88名。大会運営は支部連合会役員および将棋指導員。予選リーグ及び決勝トーナメント戦とも、持ち時間各25分切れ負けのルール。但し、準決勝、決勝戦の持ち時間は各15分、以後一手30秒の秒読み。おおむね進行は予定通りで対局を行うことが出来、おかげさまで無事に大会運営を行うことが出来ました。

会長開会挨拶。＜要旨＞・・・一つは、京都府下の支部会員数が677名と大幅に増加。10年前(256名・12支部)、支部会員数の増加は将棋普及活動のバロメーターであり、府連としての大きな役割。1月に立遊支部が設立し京都府下の支部は13支部。

二つ目は、昨年7月に京都府連独自で将棋を通じての町おこし事業への貢献として「第1回夏休み将棋合宿 in 中川」を開催。北山杉の里、中川地域において休校中の中川小学校の教室、体育館を将棋合宿に活用。参加した子ども達に対し、プロ棋士、将棋指導員、保護者、中川地域の方々とのふれあい交流を行い、たいへん好評。参加者は総勢90名。今年も7月30日～31日で第2回を開催する方向で調整。

三つ目は、今年の京都府支部連合会主催の将棋大会日程連絡。2月21日(日)に小学生将棋名人戦京都府大会、4月10日(日)は「ねんりんピックながさき2016将棋交流大会」、4月23日(土)は第74期名人戦第2局2日目「全国一斉大盤解説会」、いずれも「ひと・まち交流館京都」において開催決定。

また、3月12日(土)には、洛和会ヘルスケアシステム、京都府連、児童館学童連盟による「第4回京都子ども将棋交流大会」が、ひと回り広い会場の「しんらん交流館」において開催決定。

あと、5月にはアマ竜王戦、6月には文部科学大臣杯小・中学校将棋団体戦を予定。続いて西澤副会長より、ルール説明と注意事項についての説明。その後一斉に予選リーグ戦の開始。13時10分より決勝トーナメント戦の開始。支部対抗戦は3回戦を勝ち上がれば優勝。支部名人戦・シニア名人戦は4回戦を勝ち上がり優勝と長丁場の戦いでした。

結果は、以下のとおり。

＜支部名人戦＞

優勝・・・京都代表・高橋英晃(櫻井研支部)・・・2年連続優勝

準優勝・・・林賢治(櫻井研支部)

三位・・・太田啓介(京都梅津支部)

三位・・・大桃 康(京都梅津支部)

＜支部対抗戦＞

優勝・・・京都代表・立遊支部A(宮原 航、宇城香祐、大平 拓)

準優勝・・・京都大將軍支部

三位・・・京都府庁支部A

三位・・・錦旗会支部

<シニア名人戦>

優勝・・・京都代表・小中勲（京都市南支部）

準優勝・・・ 村正幸（京都市東山支部）

三位・・・大西就明（京都市南支部）

三位・・・千葉 均（京都市南支部）

代表になられた方々は、4月16日（土）・17日（日）に「ザ マーカスクエア神戸」において開催の西地区大会に京都代表として出場していただきます。大いに活躍されることを期待しています。参加選手の皆様、保護者の皆様、運営役員の皆様、おつかれさまでした。







